

特別支援教育の推進

大阪府教育委員会障害教育課

■特別支援教育を推進する上での大阪府としての課題

- 盲・聾・養護学校のセンター的機能のより一層の充実
- 個々の教育的ニーズに即応できる地域支援ネットワークの構築
- 養護学級、通級指導教室の弾力的運用
- 小中学校における「個別の指導計画」の充実と「個別の教育支援計画」の策定
- 高等学校における障害のある生徒への校内支援体制づくり
- 幼稚園、保育所等を含めた就学前における支援体制づくり
- 医療、保健、福祉、労働等の関係機関との連携

■大阪府としての取組み

(1) 特別支援教育の推進

- 地域支援リーディングスタッフ養成（H15～18）
4年間で105名養成
- 市町村リーディングスタッフ養成（H16・17）
2年間で200名養成
- 大阪府特別支援教育連携協議会の設置（H18～）
- 「障害教育地域支援整備事業」
 - ・リーディングスタッフ（市町村各1名、盲・聾・養護学校各1名）に、巡回相談員として、小中学校等への支援に当たれるよう、週8Hの非常勤講師配置
 - ・府内を7ブロックに分け、盲・聾・養護学校を中心とした地域支援ネットワーク構築
- 「特別支援教育推進体制事業」（国委嘱事業）
H19 府内24市町で実施
- 「発達障害早期総合支援モデル事業」（国委嘱事業）
＜新規事業＞府内9市町で実施
- 「障害のある児童生徒への教育支援事業」（H19）
 - ・府内3中学校区程度で実施
 - ・幼小中の連携強化
 - ・就学前からの一貫した支援の研究

(2) 養護学級の充実

- 養護学級設置数
小学校 2,146学級（昨年度比+134学級）
中学校 819学級（昨年度比+68学級）
- 養護学級在籍児童生徒数（H19.5.1）
小中合計 11,518名（昨年度比+977名）
- 通級指導教室開設数・児童生徒数
小学校 85教室（昨年度比+9） 1408名
中学校 6教室（昨年度比+2） 47名
- 「小中養護学級指導体制充実事業」
養護学級が1学級のみ設置となった学校を中心に、週30Hの非常勤講師を配置（府内60学級）
- 「市町村医療的ケア体制整備推進事業」（H18～）
看護師配置を行っている市町村に、その経費の一部を補助
18市町 42校に看護師配置

(3) 障害のある生徒の 後期中等教育の充実

- 知的障害生徒自立支援コース（H18～）
 - ・府立高校9校に設置
 - ・知的障害のある生徒が、府立高校で学ぶ
- 共生推進教室（H18～）
 - ・府立枚岡樟風高校内に設置
 - ・高等支援学校の生徒が府立高校に通い、高校の教育を受けるモデル研究を実施
- 大阪府立たまたがわ高等支援学校開校（H18）
 - ・職業教育の充実
- 大阪府立だいせん高等聾学校開校（H18）
 - ・聴覚障害のある生徒の後期中等教育の充実
- 「高等学校における発達障害支援モデル事業」（国委嘱事業）（H19～）
 - ・府立高校2校をモデル校に指定
- 「高等学校における発達障害のある生徒への支援研究事業」（H19～）
 - ・発達障害のある生徒支援連絡会議設置
 - ・指導用ハンドブック作成（予定）